



2016年3月期 第2四半期決算説明資料

富士機械製造株式会社

2015年11月6日

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

2015年度第2四半期実績

対前年同期比 増収増益、期初予想は未達成

(百万円)

	14年4-9月 実績	15年4-9月 実績	対前年同期 増減	15年4-9月 期初予想	対期初予想 増減
受注高	45,699	44,397	▲1,302	44,000	+397
売上高	43,188	45,284	+2,096	46,000	▲716
営業利益	5,711	6,914	+1,203	7,400	▲486
経常利益	6,025	7,268	+1,243	7,600	▲332
当期純利益	4,284	4,922	+638	5,100	▲178

(円)

1株当たり 当期純利益	43.83	50.35	6.52	52.17	▲1.82
1株当たり 配当金	8.00	14.00	6.00	14.00	0

営業利益増減分析

(単位：百万円)



セグメント別第2四半期実績

電子部品組立機 :対前年同期比 減収増益 全体的に停滞感
 工作機械 :対前年同期比 増収増益 期初予想は未達成

(百万円)

電子部品組立機	14年4-9月 実績	15年4-9月 実績	対前年同期 増減	15年4-9月 期初予想	対期初予想 増減
受注高	38,207	36,111	▲2,096	35,500	+611
売上高	37,885	37,403	▲482	37,500	▲97
営業利益	7,377	8,167	+790	---	---
受注残高	9,967	10,396	+429	9,689	+707

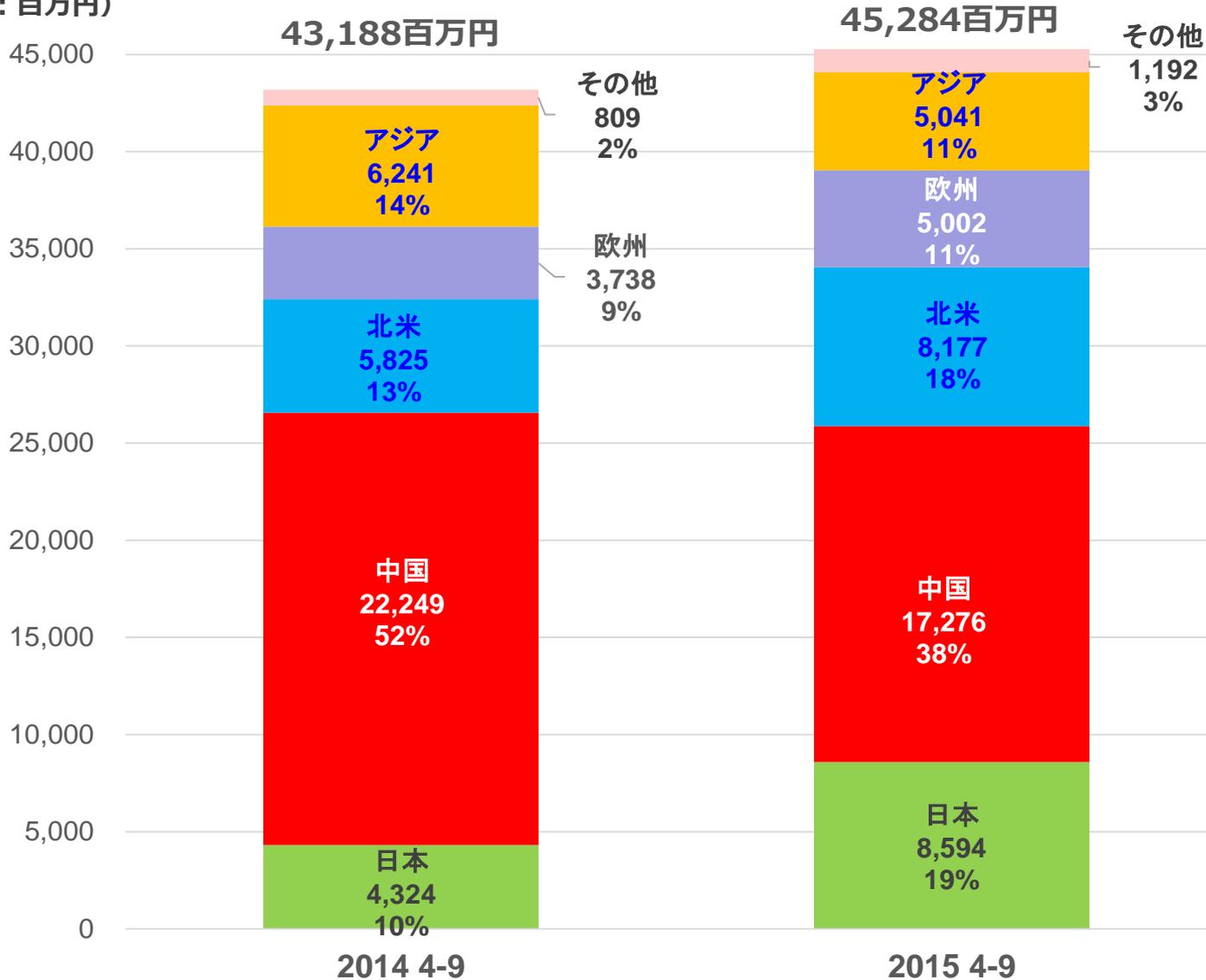
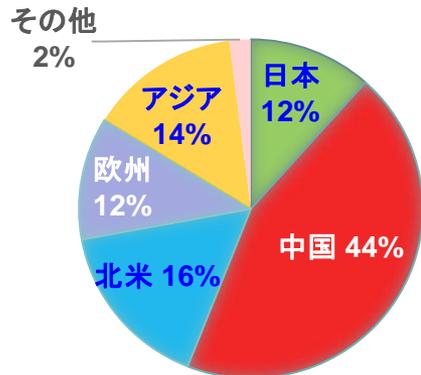
(百万円)

工作機械	14年4-9月 実績	15年4-9月 実績	対前年同期 増減	15年4-9月 期初予想	対期初予想 増減
受注高	6,997	7,702	+705	7,500	202
売上高	4,873	7,255	+2,382	7,500	▲245
営業利益	▲238	275	+513	---	---
受注残高	5,937	8,864	+2,927	8,418	+446

地域別売上高

(単位：百万円)

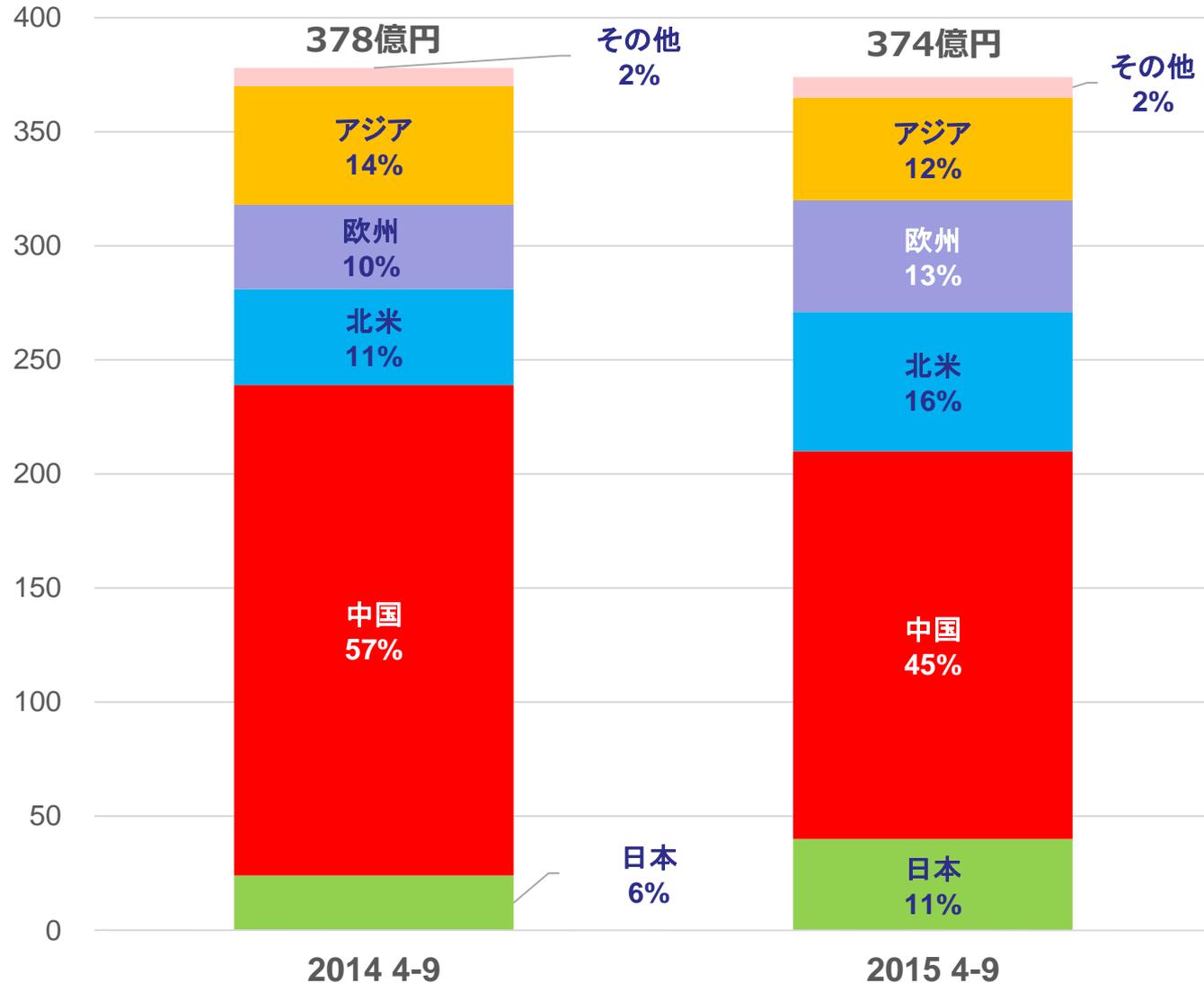
2014年度
85,265百万円



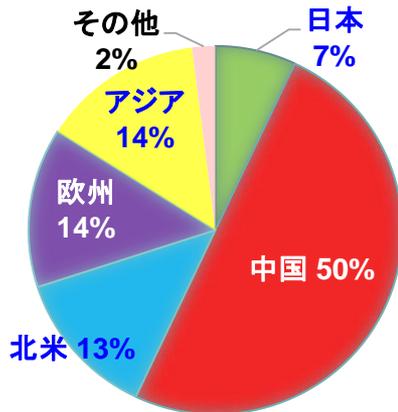
連結業績

電子部品組立機 地域別売上高

(単位：億円)



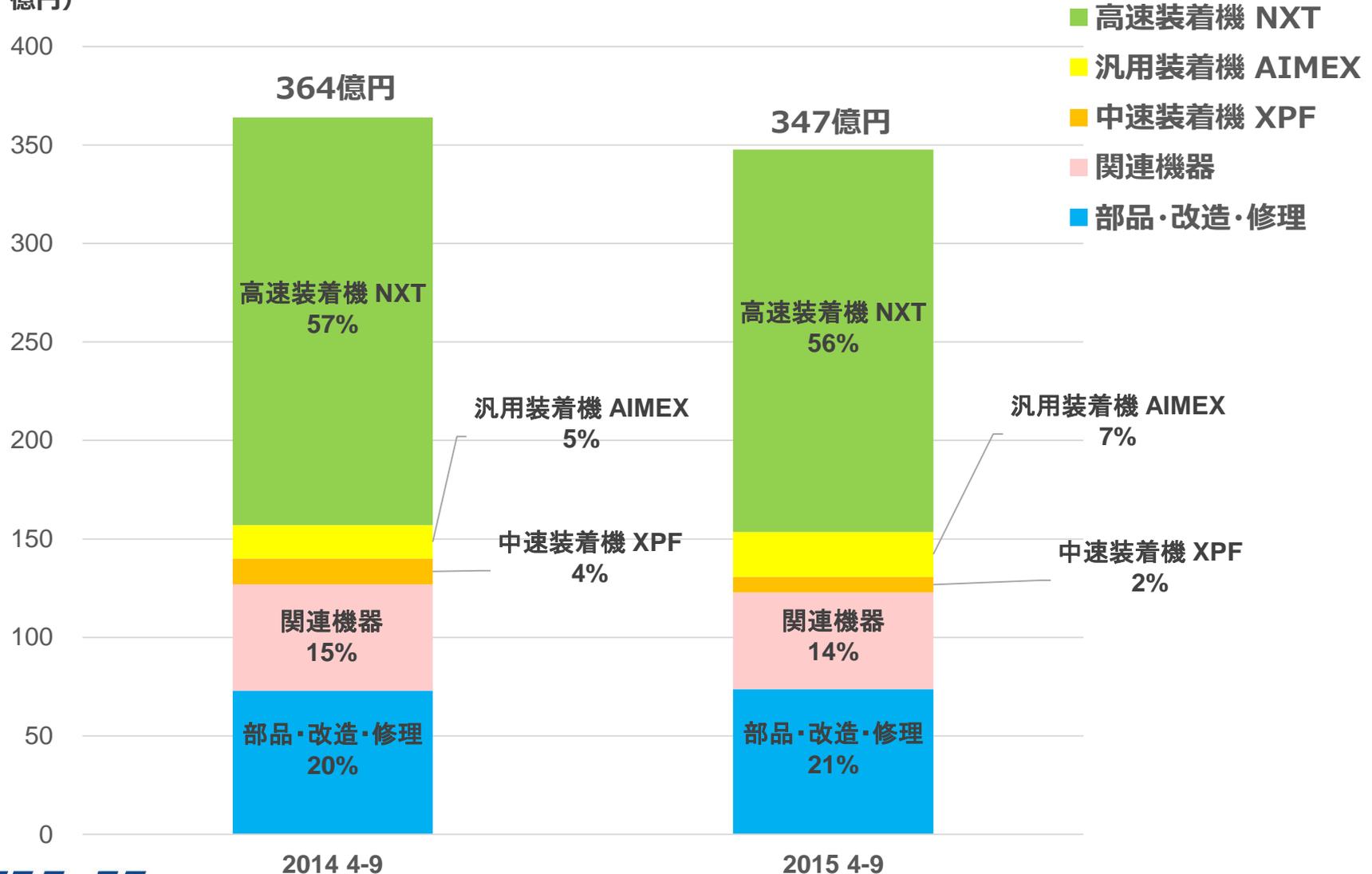
2014年度
735億円



単体業績

電子部品組立機 機種別売上高

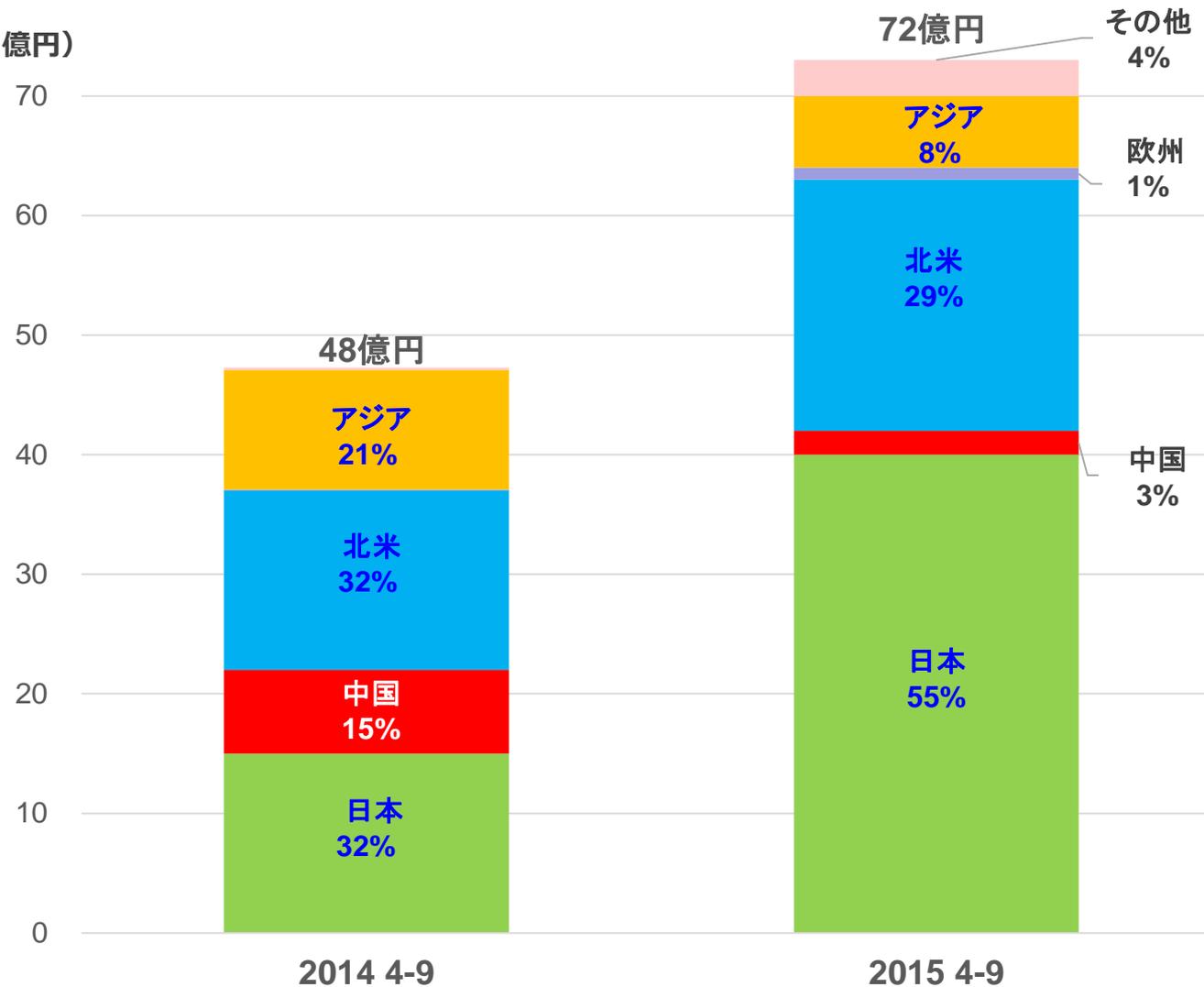
(単位：億円)



連結業績

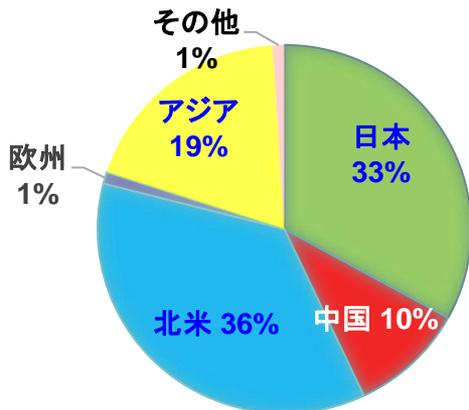
工作機械 地域別売上高

(単位：億円)



2014年度

107億円

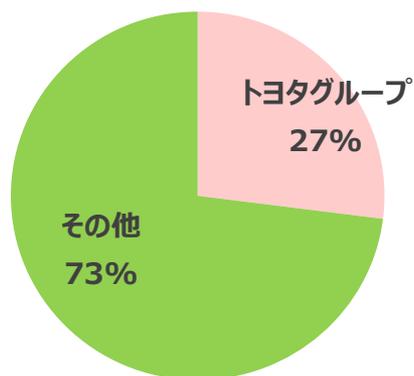


単体業績

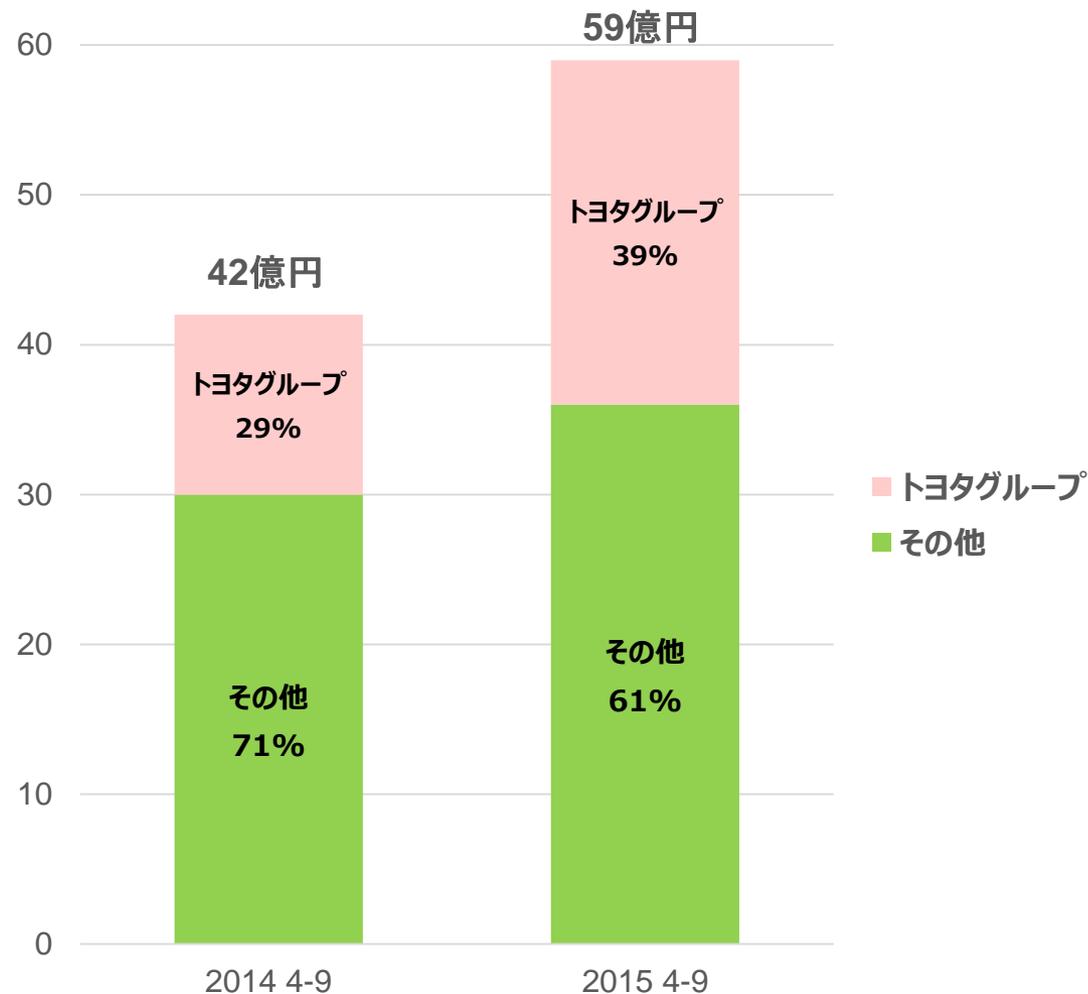
工作機械 主要ユーザー別売上高

2014年度

100億円



(単位：億円)



業績予想

(百万円)

	14.4-15.3 実績	15.4-16.3 期初予想 (5月8日)	15.4-16.3 修正予想 (11月5日)	対前期増減 (11月5日)	対期初予想 増減 (5月8日比)
売上高	85,265	84,000	82,000	▲3,265	▲2,000
営業利益	12,066	11,300	10,200	▲1,866	▲1,100
営業利益率	14.2%	13.5%	12.4%	▲1.8pt	▲1.1pt
経常利益	13,026	11,600	10,800	▲2,226	▲800
当期純利益	8,629	7,600	7,200	▲1,429	▲400

(円)

1株当たり 当期純利益	88.27	77.74	73.65	▲14.62	▲4.09
1株当たり 配当金	28.00	28.00	28.00	0	0

セグメント別業績予想

(百万円)

受注高

	14.4-15.3 実績	15.4-16.3 予想 (11月5日)	対前期 増減
			予想増減 (5月8日 比)
電子部品 組立機	75,627	64,500	▲11,127
			▲1,500
工作機械	15,361	14,000	▲1,361
			±0
その他	1,030	1,500	470
			▲500
合計	92,019	80,000	▲12,019
			▲2,000

売上高

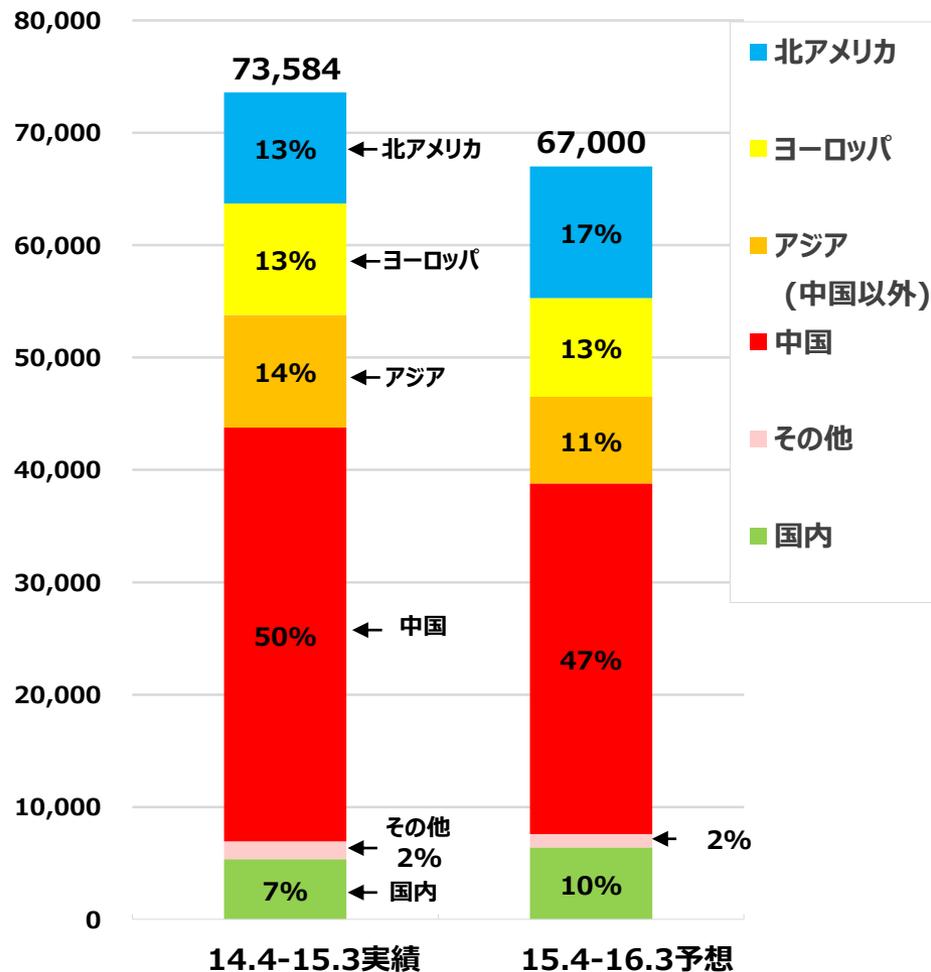
	14.4-15.3 実績	15.4-16.3 予想 (11月5日)	対前期 増減
			予想増減 (5月8日 比)
電子部品 組立機	73,584	67,000	▲6,584
			▲1,000
工作機械	10,756	13,500	2,744
			▲500
その他	924	1,500	576
			▲500
合計	85,265	82,000	▲3,265
			▲2,000

受注残高

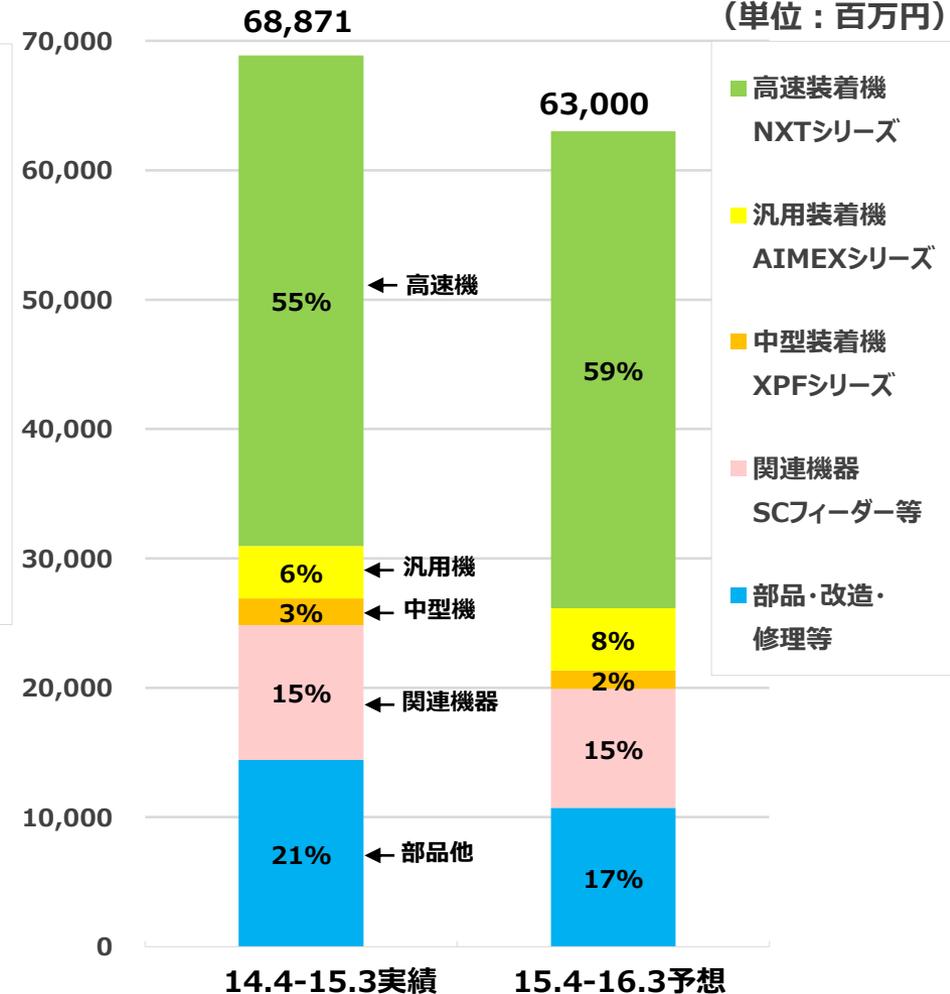
	15.3 実績	16.3 予想 (11月5日)	対前期 増減
			予想増減 (5月8日 比)
電子部品 組立機	11,688	9,189	▲2,499
			▲499
工作機械	8,417	8,918	501
			501
その他	235	235	±0
			±0
合計	20,341	18,342	▲1,999
			▲1

電子部品組立機

地域別売上高（連結）



機種別売上高（単体）

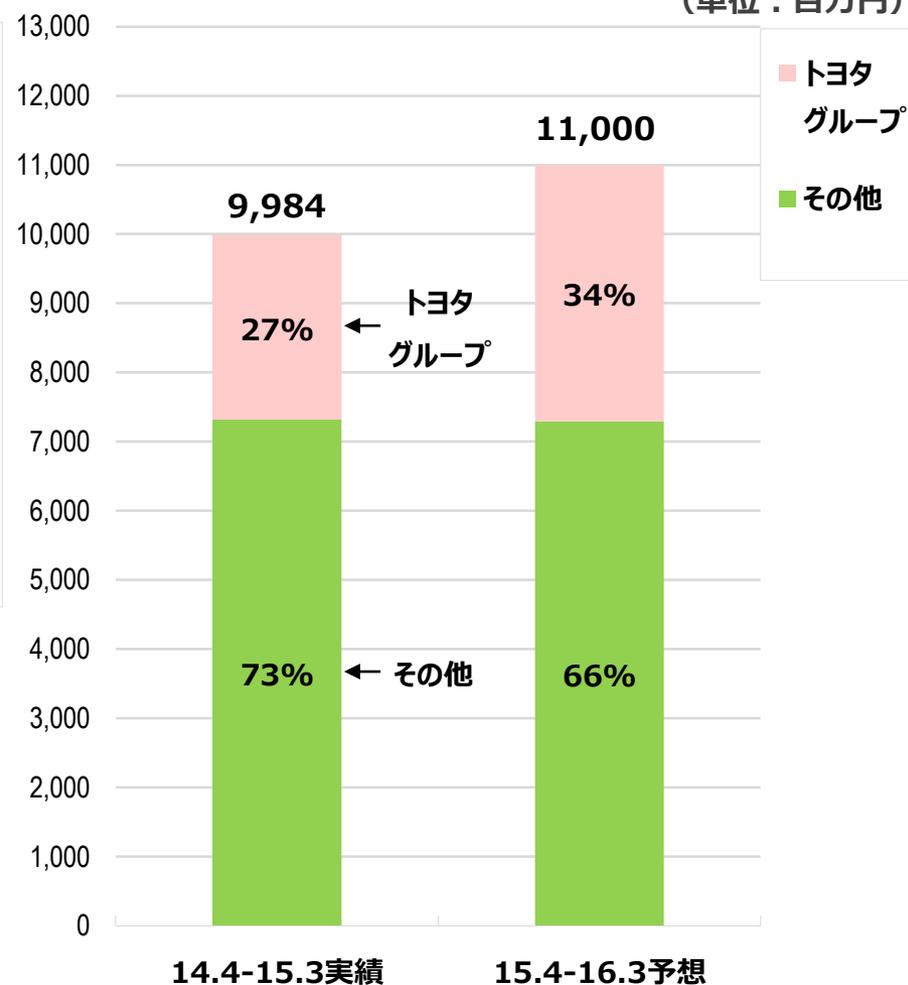
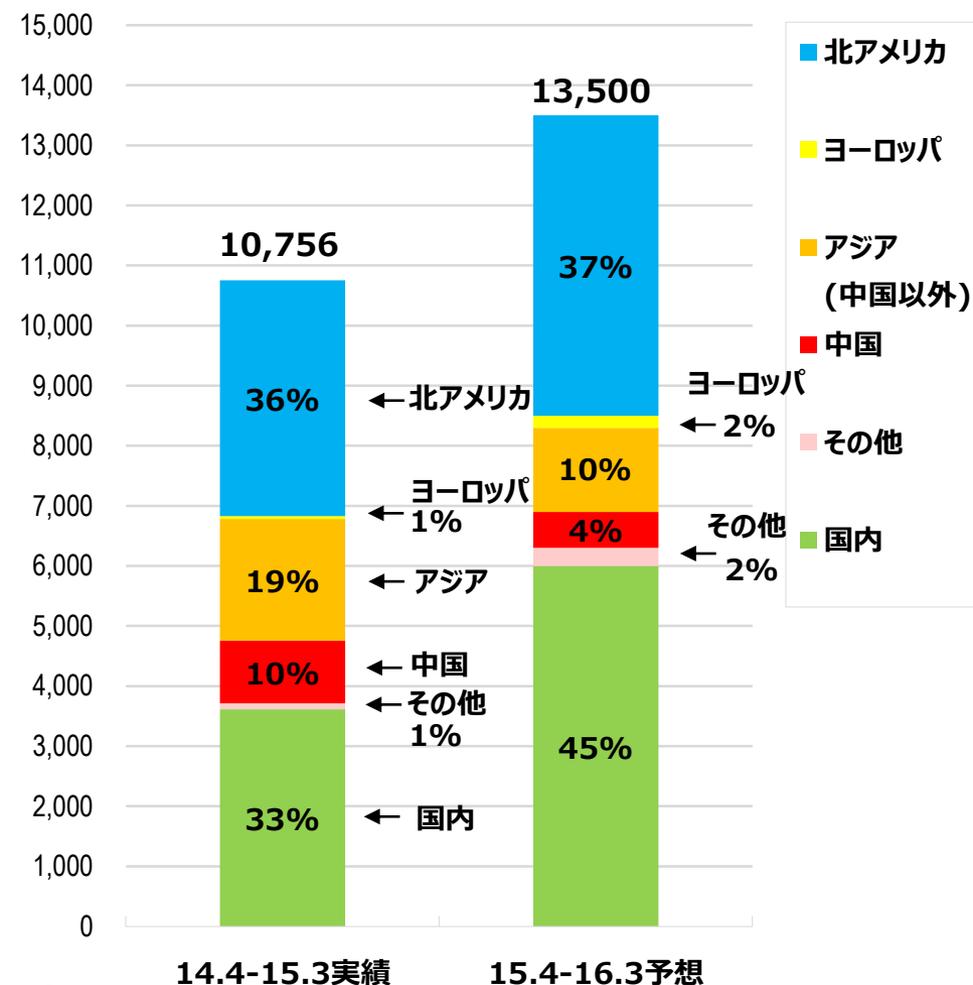


工作機械

地域別売上高（連結）

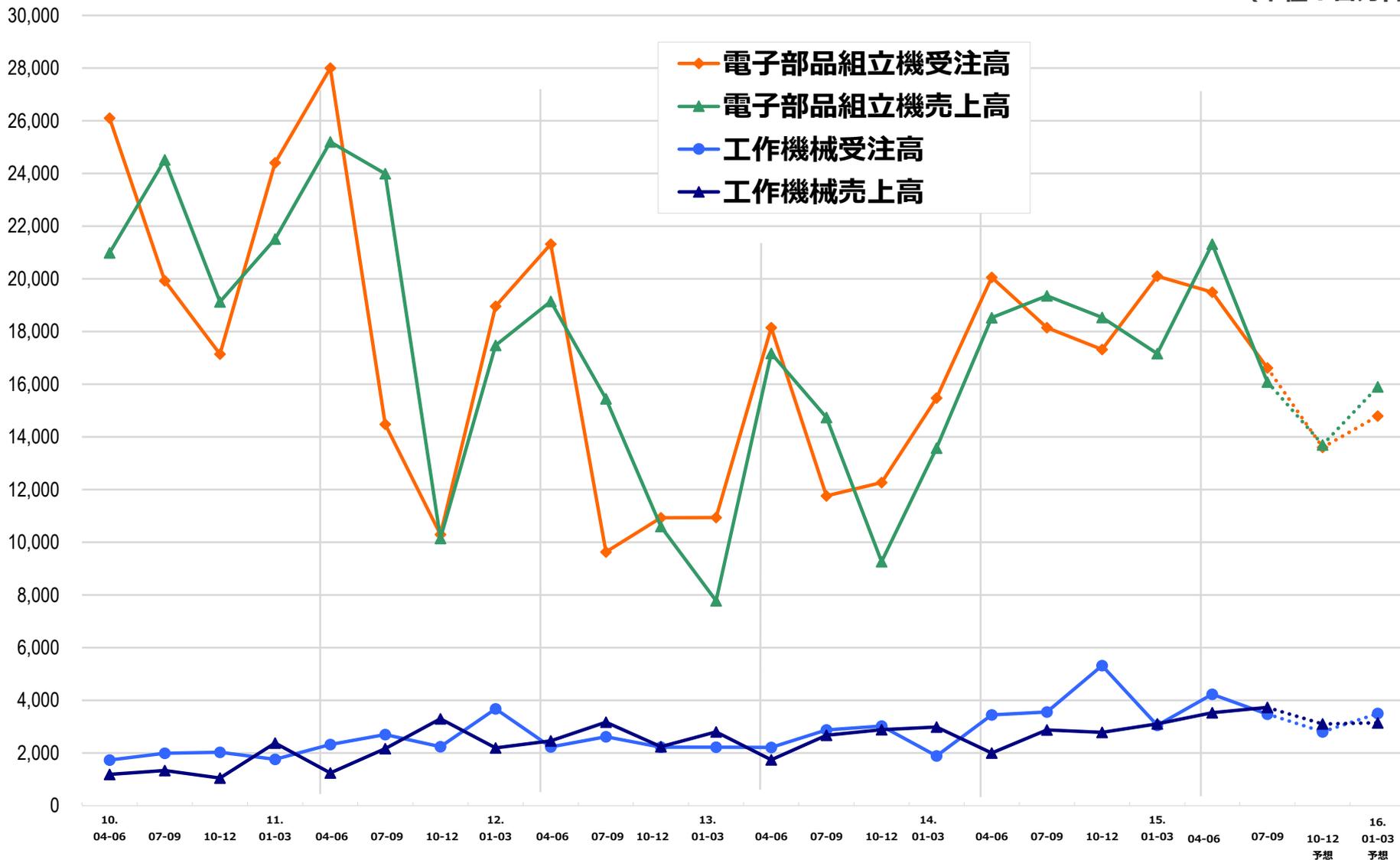
主要ユーザー別売上高（単体）

（単位：百万円）

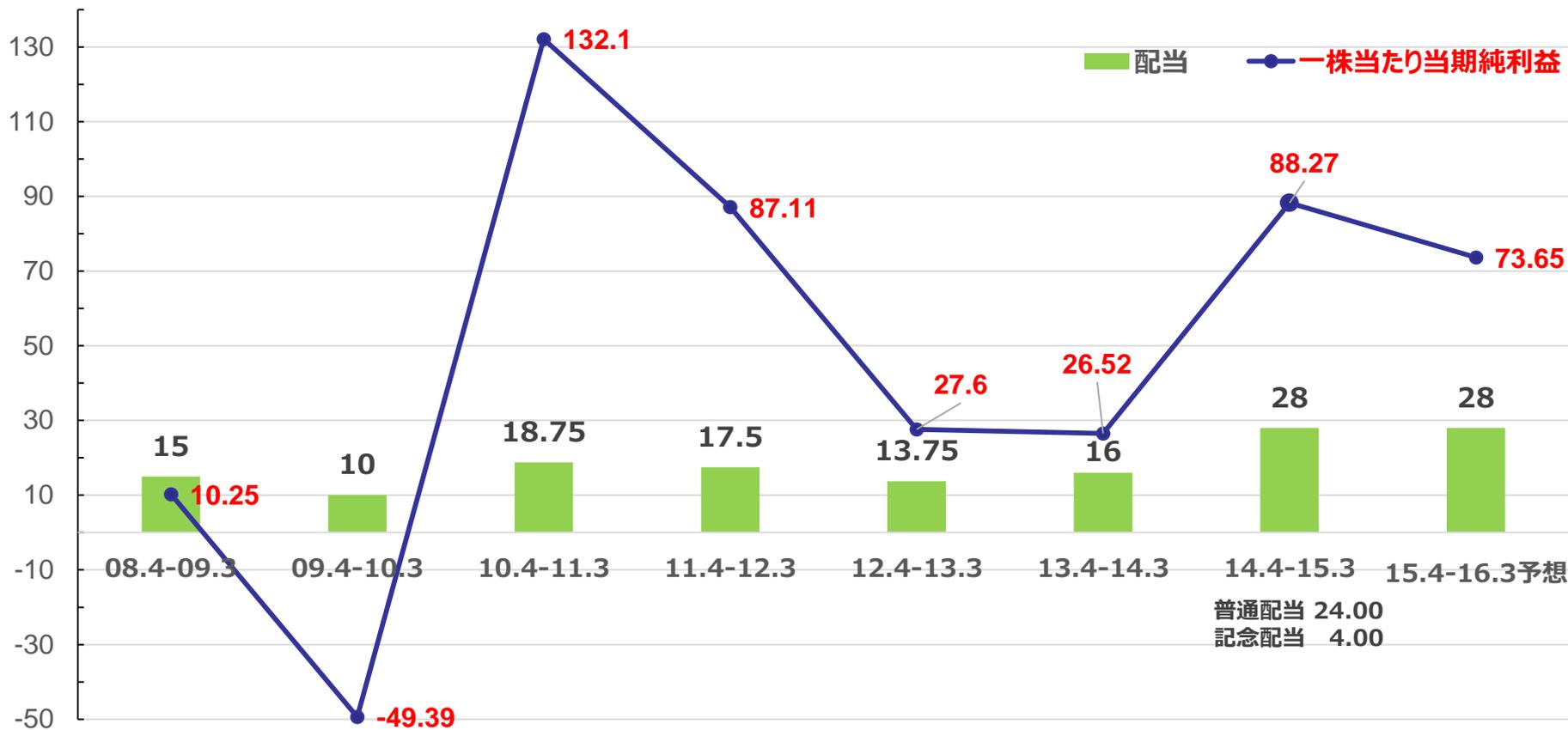


四半期別受注高・売上高

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	08.4-09.3	09.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3 予想
配当性向	146.3%	△20.2%	14.2%	20.1%	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	38.0%

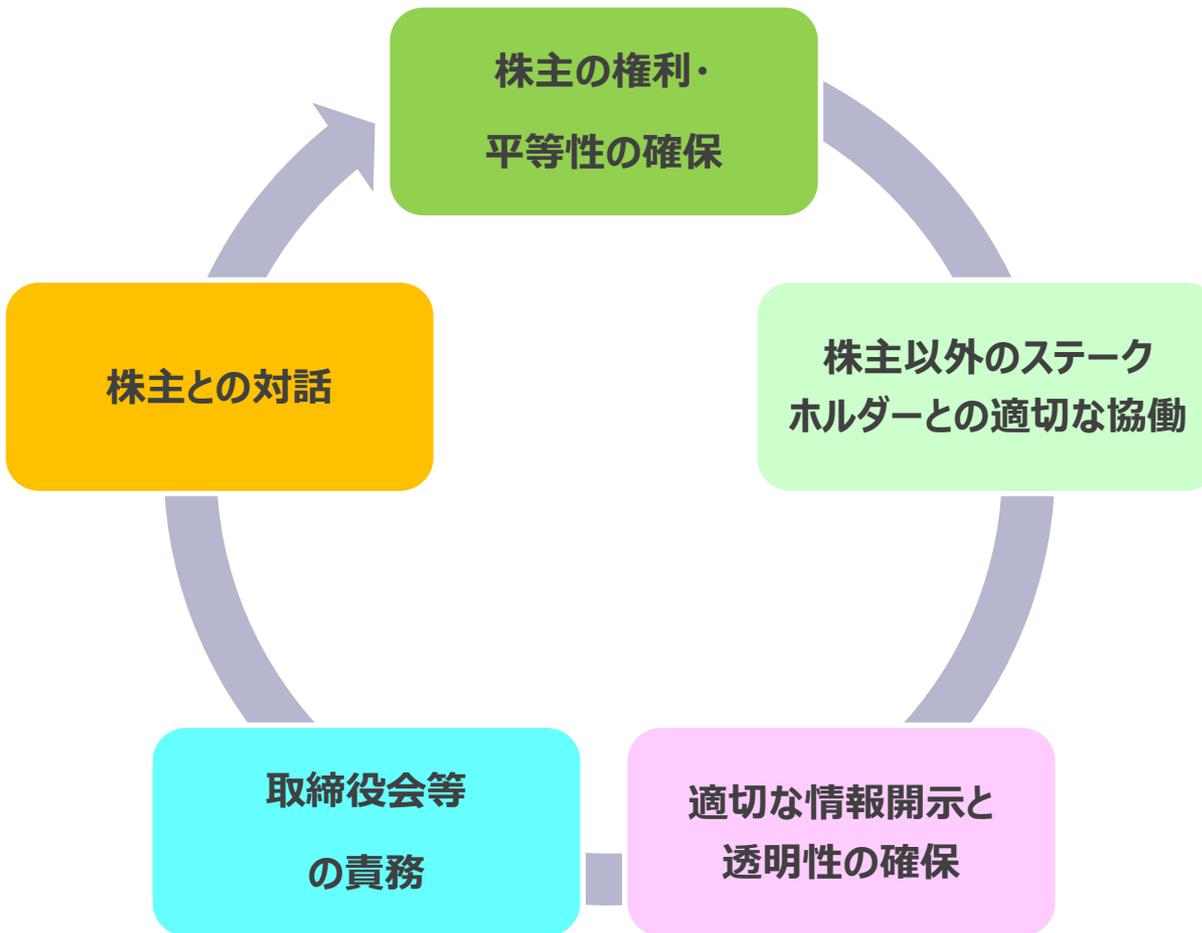
注: 2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

() 普通配当の配当性向

上記では当該株式分割が2008年4月に行われたと仮定して算出しております。

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・英文開示の充実
 - ・招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
 - ・取引先・地域社会との絆
 - ・生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・IR説明会開催、SR面談の随時対応

電子部品組立実装ロボット

スマートファクトリー実現に向けて



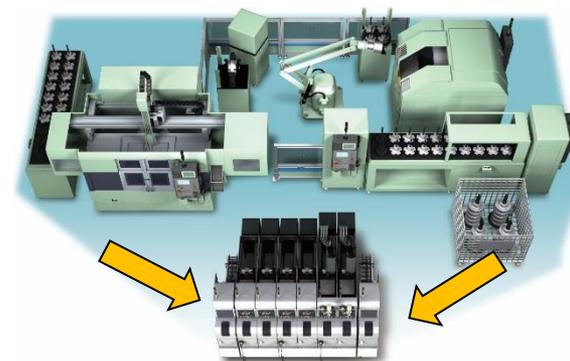
工作機械

DLFnモジュール拡充によるミニチュアファクトリー

完成された自動化



面積当りの生産性
大幅アップ°



FUJIの革新的なロボット技術

スマートファクトリー

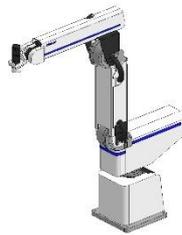
ミニチュアファクトリー



高精度・高生産性



革新的なロボット技術の展開



高精度・高生産性・低衝撃

第6回 ロボット大賞



自動化技術

画像処理

IoT装置
情報の収集

トレーサ
ビリティ

自動段取

高速・高精度
サーボ制御

(成長戦略) 世界有数のロボットメーカー

電子部品実装ロボット (ロボティックマウンター)

工作機械 (ロボット自動搬送システム)

世界有数のロボットメーカー

ロボット技術で新しい価値を創造

効率的な資金活用による迅速な施策実現

販売力
強化

研究開発

ものづくりアライアンス

M&A

資本参加

コアテクノロジー

ソフトウェア

リニアモーター
等自社開発

解析技術

製造技術

商品化
外販

生産の
自動化

高精度

生産性

スマートファクトリー